



平成31年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年12月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クスリのアオキホールディングス
 コード番号 3549 URL <http://www.kusuri-aoki-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木宏憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当兼経営企画室長 (氏名) 八幡亮一 TEL 076-274-6115

四半期報告書提出予定日 平成30年12月28日 配当支払開始予定日 平成31年2月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成31年5月期第2四半期の連結業績（平成30年5月21日～平成30年11月20日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第2四半期	122,217	13.7	6,819	17.7	7,012	14.0	5,150	19.5
30年5月期第2四半期	107,476	—	5,794	—	6,148	—	4,308	—

(注) 包括利益 31年5月期第2四半期 5,108百万円 (18.0%) 30年5月期第2四半期 4,327百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第2四半期	163.46	163.39
30年5月期第2四半期	136.89	136.77

(注) 平成29年5月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成30年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第2四半期	124,218	—	49,238	—	—	39.6
30年5月期	117,720	—	44,310	—	—	37.6

(参考) 自己資本 31年5月期第2四半期 49,199百万円 30年5月期 44,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	8.00	—	8.00	16.00
31年5月期	—	9.00	—	—	—
31年5月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年5月期の連結業績予想（平成30年5月21日～平成31年5月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	257,000	16.1	13,124	10.6	13,500	7.0	9,300	5.4	295.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年5月期2Q	31,523,460株	30年5月期	31,497,060株
② 期末自己株式数	31年5月期2Q	146株	30年5月期	88株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年5月期2Q	31,507,912株	30年5月期2Q	31,476,364株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年5月21日～平成30年11月20日)におけるわが国経済は、企業収益・雇用環境の改善を背景に、景気は引き続き回復基調で推移いたしました。一方、米中間の通商問題の動向、原油価格の変動、また、記録的な猛暑や台風、大雨などの天候の影響もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、激しい出店競争や価格競争に加え、M&Aによる寡占化や他業種からの参入により厳しさが増し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「健康と美と衛生を通じて、社会から期待される企業作りを目指します。」という理念の下、地域のお客様に支持される売場づくりに努めるとともに、既存店の活性化に注力し、12店舗の全面改装を実施いたしました。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを、石川県に3店舗、福井県に2店舗、群馬県に2店舗、埼玉県に2店舗、栃木県に6店舗、茨城県に10店舗、千葉県に3店舗、岐阜県に4店舗、愛知県に5店舗、三重県に2店舗、滋賀県に3店舗、奈良県に1店舗、京都府に1店舗の合計44店舗の出店を行い、さらなるドミナント化を推進いたしました。

また、ドラッグストア併設調剤薬局を、石川県に1薬局、富山県に3薬局、福井県に1薬局、新潟県に3薬局、長野県に1薬局、群馬県に2薬局、埼玉県に1薬局、岐阜県に1薬局、三重県に1薬局の合計14薬局を新規に開設いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア495店舗(内調剤薬局併設213店舗)、調剤専門薬局6店舗の合計501店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,222億17百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益68億19百万円(同17.7%増)、経常利益70億12百万円(同14.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益51億50百万円(同19.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1,242億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億98百万円増加いたしました。主な増加要因は、新規出店等による建物及び構築物の増加46億53百万円、商品の増加39億97百万円によるものであり、主な減少要因は現金及び預金の減少38億33百万円によるものであります。

負債合計は、749億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億69百万円増加いたしました。主な増加要因は、未払金の増加16億49百万円、支払手形及び買掛金の増加15億19百万円によるものであり、主な減少要因は、賞与引当金の減少11億1百万円によるものであります。

純資産合計は492億38百万円となり、前連結会計年度に比べ49億28百万円増加いたしました。また、自己資本比率は39.6%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の四半期末残高は38億33百万円減少し、94億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、47億98百万円の資金増加となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益69億50百万円、減価償却費25億88百万円等であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加39億97百万円、法人税等の支払額26億77百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、75億99百万円の資金減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出67億52百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億32百万円の資金減少となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入20億円であり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出24億7百万円、リース債務の返済による支出4億41百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、現時点におきましては、平成30年7月5日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,240	9,406
売掛金	2,634	2,371
商品	26,523	30,521
未収入金	7,096	6,962
その他	53	79
貸倒引当金	△38	△37
流動資産合計	49,509	49,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,538	51,191
土地	2,066	2,113
リース資産（純額）	2,743	3,139
建設仮勘定	2,667	3,246
その他（純額）	3,243	3,565
有形固定資産合計	57,259	63,257
無形固定資産	860	884
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,712	5,062
その他	5,379	5,711
投資その他の資産合計	10,091	10,773
固定資産合計	68,211	74,914
資産合計	117,720	124,218

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,190	32,709
1年内返済予定の長期借入金	4,736	4,823
未払法人税等	2,855	2,124
賞与引当金	1,105	3
ポイント引当金	3,128	3,130
その他	6,379	7,860
流動負債合計	49,394	50,651
固定負債		
長期借入金	18,549	18,055
役員退職慰労引当金	155	167
リース債務	2,114	2,577
資産除去債務	3,169	3,501
その他	26	27
固定負債合計	24,015	24,328
負債合計	73,410	74,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079	1,123
資本剰余金	2,087	2,131
利益剰余金	40,978	45,876
自己株式	△0	△0
株主資本合計	44,145	49,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	68
その他の包括利益累計額合計	110	68
新株予約権	53	39
純資産合計	44,310	49,238
負債純資産合計	117,720	124,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年5月21日 至平成30年11月20日)
売上高	107,476	122,217
売上原価	77,750	87,628
売上総利益	29,726	34,589
販売費及び一般管理費	23,931	27,769
営業利益	5,794	6,819
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	11	1
受取手数料	105	120
賃貸収入	25	28
固定資産受贈益	37	39
消費税等差額	181	—
その他	34	43
営業外収益合計	409	250
営業外費用		
支払利息	32	34
賃貸収入原価	17	17
その他	5	6
営業外費用合計	55	58
経常利益	6,148	7,012
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1	0
減損損失	1	61
特別損失合計	3	62
税金等調整前四半期純利益	6,145	6,950
法人税、住民税及び事業税	1,921	1,887
法人税等調整額	△84	△87
法人税等合計	1,836	1,800
四半期純利益	4,308	5,150
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,308	5,150

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年5月21日 至平成30年11月20日)
四半期純利益	4,308	5,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△42
その他の包括利益合計	18	△42
四半期包括利益	4,327	5,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,327	5,108
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月21日 至平成29年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年5月21日 至平成30年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,145	6,950
減価償却費	2,298	2,588
減損損失	1	61
賞与引当金の増減額(△は減少)	△970	△1,101
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	11
ポイント引当金の増減額(△は減少)	272	2
受取利息及び受取配当金	△25	△17
支払利息	32	34
固定資産除却損	1	0
固定資産売却損	—	0
固定資産売却益	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	76	263
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,397	△3,997
仕入債務の増減額(△は減少)	1,980	1,519
その他	368	1,185
小計	7,796	7,500
利息及び配当金の受取額	11	10
利息の支払額	△32	△34
法人税等の支払額	△1,106	△2,677
法人税等の還付額	3,004	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,673	4,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,788	△6,752
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△80	△92
敷金及び保証金の差入による支出	△407	△372
敷金及び保証金の回収による収入	1	0
建設協力金の支払による支出	△170	△348
その他	△34	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,480	△7,599
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,800	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,856	△2,407
リース債務の返済による支出	△440	△441
自己株式の取得による支出	—	△0
新株予約権の行使による株式の発行による収入	70	68
配当金の支払額	△219	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647	△1,032
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,546	△3,833
現金及び現金同等物の期首残高	6,525	13,240
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,071	9,406

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは医薬品・化粧品等の小売事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

当社グループは、医薬品・化粧品等の小売業という単一セグメントであるため、仕入実績は商品部門別に、販売実績は商品部門別及び地域別に記載しております。

① 仕入実績

当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の仕入実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結会計期間 (自 平成30年8月21日 至 平成30年11月20日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年5月21日 至 平成30年11月20日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ヘルス	4,932	10.3	8,919	9.6
ビューティ	8,406	17.5	16,086	17.4
ライフ	30,876	64.5	60,592	65.4
調剤	3,677	7.7	7,098	7.6
合計	47,892	100.0	92,697	100.0

(注) 1. 上記の金額は、物流益等(店舗への直送受託収入から直送委託費用を控除した物流益及び発注にかかるデータ収入)を控除しておりません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. ヘルス、ビューティ、ライフ、調剤の主な取扱品目は以下のとおりであります。

ヘルス …医薬品、ビタミンサプリメントやダイエットサプリメント等の健康食品、救急用品や健康管理用品等の医療用品

ビューティ…カウンセリング化粧品、洗顔料等のフェイスクア商品、ボディソープ等のボディケア商品、シャンプー等のヘアケア商品、歯磨等のオーラルケア商品

ライフ …菓子・飲料等の食品、オムツ等のベビー関連商品、介護用品、生理用品、洗剤、家庭用品、ペットフード、靴下や肌着等の衣料用品、家電用品

調剤 …薬局にて処方する医療用医薬品

② 販売実績

当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結会計期間 (自 平成30年8月21日 至 平成30年11月20日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年5月21日 至 平成30年11月20日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ヘルス	7,030	11.6	13,990	11.4
ビューティ	10,336	17.1	21,469	17.6
ライフ	37,432	61.9	75,756	62.0
調剤	5,704	9.4	11,000	9.0
合計	60,505	100.0	122,217	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 地域別販売実績

当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

区分	店舗数(店)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成30年8月21日 至 平成30年11月20日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年5月21日 至 平成30年11月20日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
北陸	182	28,172	46.6	57,370	46.9
信越	76	9,007	14.9	18,528	15.2
関東	129	11,687	19.3	23,136	18.9
東海・近畿	114	11,637	19.3	23,182	19.0
合計	501	60,505	100.0	122,217	100.0

(注) 1. 店舗数は当第2四半期連結会計期間末現在のものです。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。